

変更契約の調書

工 事 名	配水本管布設替工事(第一工区)		
当初			
工 事 場 所	南陽市 宮内 地内		
請 負 業 者 名	株式会社松田組		
工 事 種 別	水道施設工事		
工 事 概 要	配水管布設工 DIP-GX φ 450mm L=271.3m		
契 約 金 額	97,900,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)		
工 期	着工	令和7年5月19日	
	完成	令和8年3月24日	

第1回変更

変 更 年 月 日	令和8年2月17日		
契 約 金 額 (変 更 後)	97,596,400円 (消費税及び地方消費税を含む。)		
工 期 完 成	令和8年3月24日 (変更なし)		
変 更 理 由			

1 配水管布設工について

起工測量及び試掘を実施したところ、接続する配水管や他事業者管理の埋設物の位置及び深さが設計と相違していたことから、布設延長及び土被りを変更し実施したい。

また、掘削を開始したところ、バックホウによる掘削が困難な岩盤性の土質が確認された。試掘においても同様の土質が確認されていたことから布設する法線上に連続した岩盤の層があることが推測された。このことからブレイカー付きバックホウによる岩盤破碎が必要となり、岩石性の土質調査を実施したところ「軟岩Ⅰ」と判定され、当初計上していた土質とは異なることから「軟岩破碎」「積込(ルーズ)」「発生土処理『軟岩』」を追加して実施したい。

2 排水管布設工について

起工測量及び試掘により、接続する既設排水管の位置(始点部)が設計と相違していた。また排水する集水柵(終点部)において当初計画していた放水口に横断暗渠が設置されていたことから、放水口を90度変更した。これらに適合するように配管を精査したことにより布設延長を減工し実施したい。

また、配水管布設工と同様に「軟岩Ⅰ」による施工を追加したい。

3 排水管布設工(配水管の仮設・撤去・再設置)について

双松公園に配水している水道施設(HPPE φ 75mm)が支障となったことから、一時的に別ルートにて仮設を行い、支障となる水道施設の撤去・再設置を行ったため、配水管布設工を増工し実施したい

4 仮設材賃料について

上記「軟岩Ⅰ」に伴う施工日数を考慮し、賃料日数を再計算したことから仮設材の賃料について変更し実施したい。

5 その他

現地に適合するように軽微な変更を実施したい。